

2012年8月6日

## 第7回 鶴川駅南側街づくり検討会の報告

7月20日（金）に「第7回 鶴川駅南側街づくり検討会」を開催いたしました。【街を・道路を、描いてみよう】をテーマに、いまの道路が広くなると、どんな街になるのか議論しました。地図に描いてみることで、どんな道路になるのか？駅前広場は？などたくさんの意見をいただきました。

### 議 事 録

□参加者 ■市の職員

#### ◎道路拡幅について

- 自宅を建てる際、セットバックし前面道路を4mに拡幅しましたが、4mでは軽トラックが通行するだけでもやっとなです。セットバックして土地は減ることになりますが、広げた道路を利用するのは結局自分達です。もう少し広げておけばよかったと感じています。
- 狭隘道路事業では4.0m 拡幅であるが、小型車同士の相互通行がやっとなできる幅です。緊急車両の通行を想定した場合、大型車と小型車の相互通行が可能な6m道路を基本としています。また、開発行為等で電柱を新設する際は民地内への設置が原則となります。
- 道路を6mに拡幅するためにセットバックを行えば、現在と同じ位置に自宅を建てる事が出来なくなる場合もある。また、歩道で両側3m、道路と合わせて12mが必要とされるのではないですか？12mもの道路を確保するのは無理だと思います。
- 道路管理者との協議が必要となるが、片側歩道を1.5mや2.0mで設置したり、歩道付の道路を選定するなど、工夫して道路を整備することも考えられます。
- 現道の拡幅だけでは、土地利用が十分図れないため枝線が必要となる。道路が増えれば地権者の負担も増えるのでは。
- 区画整理による整備を行い、碁盤目状に道路を通した場合、道路や緑地の確保のために、個々の宅地面積は減歩されます。また、地区計画による整備を行う場合、ご自宅の建て替えの際に、指定された位置まで宅地境界を後退さ

せて道路を拡幅する方法もあります。

- 道路後退によって個々の宅地が狭くなり建物は建てられないのでは。
- なかには移転等が必要な場合もある。今後、セットバックを行った場合に残る面積がどの程度になるか。また、用途地域によってどれくらいの建築物が可能か確認する必要があります。
- 現道を生かしつつ、曲がりくねった道路をなるべくまっすぐになるように整備をしたほうがよいのでは。
- 踏切付近や橋梁付近に擦り付けるように道路線形を考えることは、交通安全上良いことである。反面、宅地から道路になる部分も増えます。

#### ◎駅前広場について

- 三輪方面、岡上方面からの交通を考えると東口の駅前広場だけでなく、南側も必要ではないか。
- また、駅の橋上化と合わせても駅前広場は必要ではないか。柿生駅にも駅前広場がある。
- 現在、東口の駅前広場も満杯状態である。ある程度の規模の駅前広場は必要である。
- 将来、川崎側からのアクセスも考え、先行して整備すべきである。

#### ◎土地利用について

- 駅南地区の東側と西側で土地の状況が違うため街づくりの手法も分けて、街並みも分けて検討するほうがよいのでは。
- 基盤整備を行い、用途地域を変更することで、階数の高い建物を建てたり、商業施設の建築についても可能性があります。しかし、用途地域の変更には方針、基準等の条件があるため、それを整理して考える必要があります。
- 住居地域と駅前地域の用途を分けて考えるのは現状に合っていると思います。整備手法と用途指定についても検討していきましょう。

#### 次回開催のご案内

9月15日（土） 午前10:00より 能ヶ谷いこい会館にて

みなさまの参加をお待ちしております。是非お越しください。

町田市 都市づくり部 地区街づくり課 担当者 加藤・野口  
連絡先 042-724-4266 （新庁舎8階）

○道路が狭くて危険である。消防自動車が入れるよう拡幅したほうがよいのでは！  
○曲がりくねった道路をなるべくまっすぐにしたい！

検討会では、鶴川駅南側をどんな街にしたいか議論しています。  
たくさんの方々のご意見、ご参加をお待ちしております。

○駅を橋上化すると南北の通行が便利になる！  
○南側も駅前広場があったほうがよいのでは！

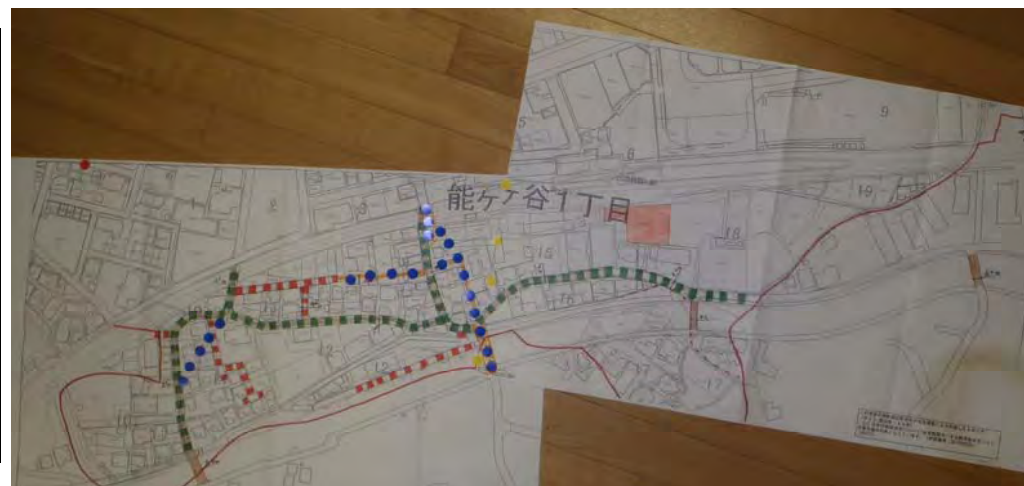
○住宅地と駅前とで町並みが違ってよいのでは！

○検討会では、既存道路を拡幅した地図を用意し、道路線形や駅前広場の位置などについて議論しました。

※あくまで、街づくりのイメージです。



検討会で使用した  
図面・説明資料



凡例

	公道
	私道
	道路線形イメージ
	駅前広場イメージ
	低層住宅ゾーン
	駅前ゾーン